

高知県言語聴覚士会理事会

日時 2016年11月2日(水) 19:00~20:30

場所 高知県立療育福祉センター

出席 西田 石川 大崎 川上 小松 高野 山本(光) 山本(理) 若林 吉村 矢野(書記)

欠席 横島

【検討・報告事項】

1. 研修会(研修部)

- ・第28年度研修会;平成28年10月16日(日)10:00~13:40、高知リハビリテーション学院2階205教室にて開催した。講師はエール薬局薬剤師濱田篤秀氏、高陵病院看護部教育部長山脇光氏。参加者38名。内会員外1名は1,000円を徴収した。資料印刷代は3375円。

2. 言語聴覚士の仕事PR活動(渉外部)

- ・中高生に向けてSTの仕事をアピールする資料を作成する。PR活動部員は濱田さん(いずみの病院)、中岡さん(細木病院)、吉村理事(高知リハ学院)。部員の集まりは月1回、1回目は11月中旬の予定。

3. 高知県リハ職能三団体協議会報告(地域福祉部)

- ・県外視察は小松理事、西田会長、池さん(高知リハ)、野田さん(須崎くろしお)に決定した。

4. 失語症会話パートナー養成講座(地域福祉部)

- ・基礎編は平成29年1月22日(日)10:00~16:00 ふくし交流プラザにて定員18名。実践編は平成29年3月5日(日)10:00~16:00 ふくし交流プラザにて定員12名。11月中に高知新聞への掲載依頼と案内の発送を行う予定。

(会長より) 会話パートナー養成を国が行う方針となった。養成された会話パートナーは県へ登録され、県から派遣される。養成講座の講師をまずは養成する。養成講座講師の養成はSTが行う。早急にカリキュラム案が作成され12月にテキストが完成する。来年年2月11日に県士会への説明会。養成講座実施と現場への派遣は県または委託先からとなる。2月の説明会には各県士会から1名参加を要請されている。県士会の会話パートナー養成講座事業は今年度までとなる。

→2月の説明会参加者を誰にするかは今後検討する。

5. 高知県言語聴覚学会

- ・シンポジウム;高知リハからの教育視点、いずみの、近森、野市中央、あいの里、アシストジャパンからは申し送りの現状と希望など。

→もう少し内容を絞ることを詰めて再検討。

- ・学会案内を送付する。会場費29610円。高知大のSTが大会長なら無料とのこと。

6. 会報(会報編集部)

- ・会報トップページ執筆を菅先生に依頼予定。
- ・会員に記事を依頼するのに会員名簿があったらよい。→理事に名簿を配布する。
- ・國本大介さん退会となっているが本人は会員のつもりでいた。→事務局から確認する。

7. 忘年会(福利・厚生部)

- ・忘年会は食事のみの金額を集金。飲む人は各自で支払う。白坂先生分は県士会で支払う。

8. 事務局

- ・菅先生囲む会;参加申し込みは12名。今週末ホテルに一旦人数を伝えることになっている。全体の司会は矢野。食事会での司会は石川理事。

- ・新入会員;北島病院田上さん、愛宕病院吉本さん。

9. 都道府県士会会長会議報告

- ・基礎講座講師養成講座は今年度で終了。高知県からは横島理事が参加予定。
- ・基礎講座講師要件が変更となる。『5年以上の臨床経験』→平成30年から『10年以上の臨床経験』『協会年会費滞納のないもの』『認定講習会を受けられる資格のある者(専門プログラム終了している)』の条件へ。会長印のある登録用紙で申請し、全国協会の理事会に諮る流れとなる。
- ・協会からのアンケートには協力をお願いします。
- ・災害支援の報告;岩手、熊本、鳥取
- ・若手STに対する研究助成金プロジェクトがホームページに掲載される。
- ・平成29年度言語聴覚の日イベントの共催は岡山と奈良。共催県には助成金50万円が支給される。
- ・定款が変更された。

以上

次回 2016年12月7日(水) 19:00~ 高知県立療育福祉センターにて(1月からいずみの病院)